

人にやさしく！

温かい「声かけ」を大切に!

いよいよ夏の訪れを感じる頃となりました。先日は、お忙しい中、授業参観・PTA総会へご出席いただきありがとうございました。今後も、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

さて、今回のテーマは、ご家庭で実践してほしい「声かけ」についてです。

丹小あいことば、「人にやさしく、自分にきびしく」の第一歩として、子どもたちには「ふわふわ言葉を使おう」と話をしています。「ふわふわ言葉」とは、「ありがとう」や「がんばってね」など、言われたら気持ちが温くなる言葉、自分が言われてうれしくなる言葉です。各学級の取組の効果もあり、本校では、相手を責めるような「うざい」や「キモい」などの「ちくちく言葉」を耳にすることが、毎年少なくなってきたように感じます。

声かけについても、同じようなことが言えます。「温かい声かけ」からは温かい言葉が、「厳しい声かけ」からは厳しい言葉しか生まれません。

実際、ご家庭では、宿題や食事、入浴や片付け、明日の学校の用意など、子どもたちがしなければいけないことがたくさんあり、時間にも追われて、お家の方が子どもにかけられる言葉は、思いがけず厳しいものになっているかもしれません。以下に、子どもに声をかけるときに実践してほしい内容をまとめてみました。



5年生 タマネギ大収穫!

- 大きな声を出さずに、穏やかな声で
- 遠くから叫ばず、子どもに近づいて
- 早口にならずに、ゆったりとしたペースで
- 子どもにも都合が・・・子どもの様子を確認して
- 「まだか」「できてないんか」より「できてるか」と肯定的な言葉で
- 「できないとき」「できてないとき」の子ども言い分も必ず聞いて



つつい子ども言動に巻き込まれそうになりますが、ぜひご家庭で実践していただき、ご家庭でも学校でも、このような温かい声かけ・言葉がけから、子どもたちのやさしい気持ちが育っていくように願っています。

今年度の学校評議員について

「学校評議員制度」は、2000年4月から導入され、学校と家庭、地域社会が教育活動において、連携・協力するために設置されました。学校評議員の方々には、教職員が学校を円滑に運営するように、助言・支援していただいております。学校にとっては、相談役でもあり、応援団でもあるという存在です。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

上田 恒夫さん(丹波市校区区長会長)

～あいさつ運動、学校・地域パートナーシップ事業のコーディネーター～

中西 久男さん(地域安全推進委員)

～子どもの登下校時の見守り活動～

山本 裕之さん(PTA会長)

～PTA事業の一環としてのボランティア活動、コーディネーター～

坂口 登さん(天理市子ども会連合会会長)

～紙飛行機作りと飛ばし方指導、おもちゃづくり、コーディネーター等～

宮西 達二さん(民生児童委員、奈良県青少年指導員)

～子どもの見守り活動、学校地域パートナーシップ事業ボランティア～

吉村 壽美さん(民生児童委員)

～放課後教室ボランティア活動～